

平成 30 年度尼崎市子ども・子育て審議会第 2 回計画策定部会 議事録

開催日時	平成 30 年 11 月 2 日（金） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
開催場所	尼崎市役所 中央公民館 小ホール
出席委員	瀧川部会長、伊藤（篤）副部会長、伊藤（嘉）委員、大和委員、高谷委員、鳴神委員、濱名委員、山本委員、堀川委員
議題	(1) ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等について (2) ニーズ調査票<就学前・小学生>（案）について (3) 中高生向けの意識調査票（案）について (4) その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1－1 ニーズ調査の設計に当たっての留意点等 ・資料 1－2 国の「量の見込み」の算出等の考え方に対する必要な対応等 ・資料 2－1 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<就学前>（案） ・資料 2－2 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<小学生>（案） ・資料 2－3 第 1 回計画策定部会における主な意見等に対する対応 ・資料 3 尼崎市次世代育成支援に係る中高生向け意識調査票<中学生>（案） ・参考資料 1 第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方 ・参考資料 2 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き ・参考資料 3 調査票のイメージ

開会

- 配布資料の確認

1 ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等について

- 資料 1－1、1－2 に基づき、事務局から説明

部会長

ありがとうございました。設問を設計するに当たり、国から示されている項目を踏まえるということと、市独自の項目も盛り込むという説明がありました。また、ニーズ調査の調査数、実施時期などの情報を整理していただきました。これらを踏まえ、資料 1－1、1－2 につきまして、何か質問等ございますか。

資料 1－1 「4. ニーズ調査実施要項」の調査方法で、「住民基本台帳を基に対象児童のいる世帯を無作為抽出し」となっていますが、例えば、提供区域を想定し、地域ごとの対象の子どもの数などを配慮した抽出方法なのではないでしょうか。それとも完全に無作為に抽出されるのでしょうか。

事務局

提供区域につきまして、現在は6地区に設定しております。今後、検証していく上で、見直す可能性もございますが、調査の対象としては現行の6地区に分けて、住民基本台帳から年齢ごとに人数按分し、抽出します。ただし、人数の少ない地区につきましては、統計上で必要な標本数の最低ラインを下回るところがありますので、調査対象数の最低ラインを設定するなどして対応しております。

部会長

ありがとうございます。完全に無作為抽出するというよりは、地区ごとの人数などを配慮し、ニーズを把握できるように検討されているということですね。他にご意見はございませんか。
(発言なし)

2 ニーズ調査票<就学前・小学生> (案) について

- 資料2-1、2-2、2-3に基づき、事務局から説明

部会長

ありがとうございました。委員の皆様それぞれの立場から、専門的見地や市民目線を含めたご意見をいただきたいと思います。資料1-1の「5. ニーズ調査項目の検討に当たっての視点」で4つの視点がございますので、ボリューム、設問の流れ、レイアウト、表現の仕方に関するご意見や、このような設問があった方が良いのではないか、この設問は集約できるのではないか、といった内容も含めてご意見をいただければと思います。

委員

就学前の間6で「世帯年収はいくらですか」と聞かれたら、通常は総支給額を想像すると思いますが、迷われる方も多いのではないかと思います。正確に把握したいのであれば、説明書きを追加した方が良いと思います。

13 ページ中程に「お子さんが5歳以上の方にうかがいます」とあり、この部分からは5歳以上の子どもが対象になっています。5歳以上ということは、幼稚園や保育園などにおける4歳児クラスの子どもの一部も該当することになると思います。5歳児クラスではなく、年齢が5歳以上の子どもについて答える設問なのか、5歳児クラスの子どものみに答えてほしいのか、4歳児クラスの子どものみに答えてほしいのか、どの部分の回答がほしいのかによって表現が変わるのではないかと思います。これはどの部分を指すのでしょうか。

事務局

まず、一つ目の「収入」なのか「所得」なのかについては、「収入」を回答してもらいたいと考えておりますので、わかりやすい表現にしようと思います。

二つ目の「5歳以上の方」につきましては、もうすぐ小学校に通う人に聞きたいので、「5歳児クラス」が対象になると思います。

部会長

ニーズ調査は11月後半から12月にかけて行われると思いますので、その時点の5歳児クラス

を対象とした場合、分析結果を踏まえると実体やニーズに合わないのではないかと思います。そのため、4歳児クラスの子どもも含めた方が、先の見通しが立つように思いますが、国はどのような意向で「5歳児以上」と表記するように考えているのかを確認していただきたいと思います。

委員

一つ目に、2ページ問7で「お住まいの住所をお書きください」とありますが、番地まで回答していただく理由は説明していただいたのですが、倫理的に、もしも自分が回答するとしたらとても抵抗があります。

二つ目に、問16と問16-1で、「無償化を考えずに回答するもの」と、「無償化された場合に回答するもの」ということで、選択肢が全く同じものが並んでいますが、この調査票はとてもボリュームが多いという印象を受けましたので、少しでも減らした方が良いと思います。この部分は設問を1つにまとめて、「無償化を考えずに」と「無償化された場合に」のそれぞれの回答欄を設けて、同じ選択肢の中から選んでもらうようにした方が良いと思います。

三つ目に、14ページ問26で、「妊娠中に助けてほしいと思ったことはありましたか」という問に対しての選択肢の尺度についてですが、等間隔になっていない印象を受けました。「よくあった」「時々あった」「ほとんどなかった」「なかった」になっていますが、「ほとんどなかった」と「なかった」は近く、「ほとんどなかった」と「時々あった」が遠いように思います。「ほとんどなかった」ではなく、「あまりなかった」という表現の方が良いと思います。

事務局

問26ですが、等間隔になっていないというご意見をいただきましたので、修正させていただきます。

また、2ページ問6ですが、やはり事務局としては、今後、提供区域の見直しなど、検討していきたいと思っておりますので、できれば番地まで聞いておきたいという思いがあります。アンケート用紙を送付する皆様には、「ご協力のお願い」という文書を同封するのですが、文書中に「ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料としてのみ利用させていただくものですので、回答者個人が特定されたりすることは一切ございません」と、「回答内容によって、施設や事業の利用の可否を決定することはありません」と記載させていただいており、保育所への入所などについて判定する際に一切使用しませんということは明記させていただいております。

また、問16と問16-1ですが、設問を1つにまとめた方が見やすいのか、現状のままが見やすいのかについて、もう一度検討させていただきます。

委員

15ページ問28-5で、虐待など、ネガティブな内容についての設問があり、設問では「あなた」と指定していますが、回答している人以外で、例えば、回答者は母親だが、この設問には父親が該当している場合もあると思いますので、「あなた」と特定する方が良いのか、それとも、「あなたやあなたのご家族」や「保護者など」とする方が良いのか、回答者が虐待などしている実態を知りたいのか、あるいは家庭の中でこのようなことがあるかなどを調べたいのかによって、表記の方法が違ってくると思います。私は回答者ではない方が虐待などをする場合もあるので、その部分も調査された方が良いと思います。

また、10 ページ問 16-6 「お子さんの教育・保育等にもっと費用をかけたいと思われませんか」とありますが、何を知るための設問ですか。「お金がないから、十分に費用をかけれていないが、もし、お金があれば、もっと費用をかけたい」というようなことを知りたいのか、今の現状で十分であると思っているかについて知りたいのでしょうか。

虐待などについて回答してもらう場合に、住所を書く設問があると、回答や提出をしてもらえないということがあると思いますので、住所については回答してもらうが、あくまでも地域の保育需要を調べるためだけのものであると記載した方が良いと思います。

事務局

問 28-5 「あなたは」につきましては、回答者に限らず、「その家族」にした方が良いと思いますので修正を検討します。

問 16-6 の「費用をかけたいか」の部分ですが、意図を確認した上で、わかりやすい表記にさせていただきます。

2 ページ問 6 ですが、提供区域の検討に必要なため、設問として残したいと考えておりますので、設問の文書中に但し書きや注釈などを入れるなど検討させていただこうと思います。

部会長

問 16-6 ですが、前回のニーズ調査でも同じように聞いていた設問でしょうか。それとも今回新たにつけ加えた設問ですか。

事務局

前回と同じ内容です。

副部会長

13 ページ問 22 で、「あてはまる番号・記号すべてに○、数字を記入」とありますが、番号はどちらかを選ぶと思いますので、「「1」を選んだ場合、あてはまる記号すべてに○をつけ、数字を記入」とした方がより正確だと思います。

また、17 ページ問 29 は、「子育てに関する情報は、あなたに十分、届いていると思いますか」の方が良いと思います。

事務局

修正を検討させていただきます。

委員

調査方法で、地区ごと（6 地区）に人数按分するという説明でしたが、地区ごとの調査対象数は何件であったかなどは記載するのでしょうか。

事務局

現状では、計画の中には記載しない予定です。

委員

件数が偏ったりはしませんか。

事務局

地区別、年齢別に偏りが出ないように人数按分し、調整しようと思っております。

委員

地区ごとに回収率が偏ってしまうのではないのでしょうか。

事務局

配布数は按分により調整するため、偏りはないと思いますが、回収率については、高い地区や低い地区などがあり、結果として、回答数に偏りが生じることはあると思います。ただし、それを計画の中に記載したり、ホームページに掲載するということは現状では考えておりません。

前回は事業計画には、そのような記載などはしてありませんでしたが、地区ごとの配布数や回収率によって偏りがあり、集計データに疑念を抱かれるという懸念があるため、表などを入れた方がよいということであれば、地区ごとの配布数と回収率について記載するかを検討させていただきます。

委員

ニーズ調査の中で虐待の実態について把握するのと、住所を一緒に尋ねるのは難しいのではないかと思います。調査結果は調査目的以外に使用しないことが前提になっておりますが、この調査とは無関係で虐待の実態がある家庭に訪問した場合に、この調査に回答したから、訪ねて来られたのではないかとと思われる懸念があります。また、個人情報漏れているのではないかと不信感につながるのではないかと思います。

部会長

「〇丁目〇番〇号」まで聞かなかったとしても、「〇丁目〇番」まで聞くと、ある程度、場所を特定されると思いますが、ニーズ調査の回答から虐待の実態を把握できたとしても、それを基にしては踏み込めないということになると思います。

委員

調査結果とは全く別に虐待の実態がある家庭に踏み込んでいったとしても、この調査の回答者に「回答したことによって踏み込まれたのかな」と思われてしまい、関係性がこじれる可能性があると思います。

部会長

「〇丁目」までで止めたとした場合、提供区域に問題が生じるのかなどについて、事務局の見通しはいかがでしょうか。

事務局

今回、事業計画と次世代計画を一体的に策定するため、調査内容に次世代計画部分で虐待などに係る内容も含まれています。提供区域を検討する上では、「〇丁目〇番」までは確認したいと

考えていますが、先ほどのような懸念もありますので、「○丁目」までなら回答してもらいやすいことであれば、回収率を増やすという意味もありますので、そのようにさせていただきます。

委員

最初は、「○丁目」も回答しない人がいるのではないかと思いましたが、考慮していただけるとのことなので、それで良いと思います。

委員

16 ページの虐待に関する設問が、割と踏み込んだ選択肢になっていますので、この設問を見て回答するのは止めようという考えになる方もおられるのではないかと思いましたが、住所を回答する設問に関しては考慮していただけるということで、その方が良いと思いました。

部会長

ありがとうございます。それでは就学前の調査票の内容についてはここまでとさせていただき、次に小学生の調査票の内容に移りたいと思います。何かございますでしょうか。

副部会長

小学生高学年のアンケートの間9で、「⑦さびしさや不安を感じることはない」と「⑧不安に感じることはない」とありますが、内容が被っているように思います。

事務局

修正検討させていただきます。

委員

一つ目に、7 ページ問 20-1 の選択肢「15. 相談相手したいとは思わない」は「相談したいと思わない」の方が良いと思います。

二つ目に、小学生高学年のアンケートの間4で「学校にいる時間が楽しいですか」と、問5で「友だちといっしょにいて楽しいですか」と聞いていますが、「家にいるときは楽しいですか」と聞かなくても良いですか。

事務局

誤記載のため、修正させていただきます。

また、「家にいるときは楽しいですか」という設問についても、入れる方向で検討いたします。

委員

小学生高学年のアンケートの間3の「平日の夜ごはんを、だれといっしょに食べていますか」ですが、近くに住んでいる祖母などと一緒に食べる子どもは選択肢「1」と「4」のどちらに○をしたら良いのでしょうか。「家族」の定義が子どもにとっては非常にわかりづらいところがあると思います。例を記載するなどして、回答をしやすくした方が良いと思います。

問6の選択肢で「13. (その他)」とありますが、このようなアンケートに答えるのが初めての子どもも多いと思うので、「その他」の後ろに表示されている「()」の意味がわからない場合もあると思います。その他について、括弧の中に具体的な場所を書くという意図が理解でき

ない子どもたちもいると思うので、「具体的な場所を書いてください」と記載した方が良いと思います。

事務局

問6の設問の文書中に「13を選んだ人はその他の後の（ ）に具体的な場所を書いてください」というような表現を記載するよう検討いたします。

問3については、例えば、選択肢に「その他」などを追加する方が良いかなど、検討させていただきます。

委員

「同居していない親族といっしょに食べる」でも良いと思います。

部会長

他に気づいた点や質問はございませんか。

委員

「こどもクラブ」や「児童ホーム」のことについてですが、過去に「こどもクラブで食事ができない」という課題について意見が出ていたと思います。児童ホームでは、お弁当を持参し、1日過ごすことができるが、こどもクラブでは、昼に一旦、家に帰らないといけないということが課題であるとして、何回か意見に挙がっていたと思います。そういった意見や需要を集約するような設問は設けなくても良いのでしょうか。

事務局

問12の「こどもクラブを利用していない理由」には「弁当が持参できないから」という選択肢を設けておりますので、「児童ホームを利用している理由」にも「児童ホームなら弁当を食べられるから」といった選択肢を追加しても良いかと思えます。

委員

小学生高学年のアンケートの問9で、子どもがどこまで本音を書くかはわかりませんが、選択肢「⑦」は質問が逆説になっており、回答しづらいと思いますので、「さびしさや不安が感じることがある」にした方が良いのではないかと思います。

事務局

小学生高学年向けの問9の「⑦」と「⑧」が逆説になっているので修正させていただきます。

委員

一部の質問だけネガティブな内容にするなら、その部分を分析する際は尺度を逆にしなければいけないと思います。他の質問は全て自己肯定感尺度の文章になっており、それに対して「そう思う」「まあそう思う」に1か2をつけてきた人が、自己肯定感が高いという分析をしますが、「さびしいと感ることがある」という表現にすると、そこだけ選択肢の1から4が逆になります。そのため、分析の際はその部分だけ、読み方を間違えなければ大丈夫だと思います。

委員

小学生高学年のアンケートは本人が回答し、それを封筒に入れるのは保護者ですか。保護者には見せにくい設問がたくさんあるので、保護者が封筒に入れるとなると、保護者の意を汲んだ回答になってしまうのではないかと思います。子ども用で別封筒を入れる予定なのでしょうか。

事務局

子ども用封筒を同封させていただき、保護者には内容が見えないような工夫をさせていただこうと思います。

昨年5月に小学校5年生と中学校2年生を対象に子どもの生活に関する実態調査をさせていただいた際も、子どものアンケートと保護者のアンケートがありましたので、保護者に内容が見られないように子ども用封筒に入れ、封をした上で保護者に渡し、保護者の分と一緒に親封筒に入れるという方法を探りましたので、そのように工夫させていただきます。

委員

封をしやすいように、フタの部分にシールなどをつけてあげた方が良いと思います。

部会長

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

全体的に、前回よりボリュームは減っていると思いますが、参考までに回答時間はどのくらいですか。

事務局

小学生の調査票に比べると、就学前の方がボリュームは多くなっております。職員の家族などにお願ひし、何人かに実際に回答していただきましたが、就学前はおおよそ20～30分で、小学生はもう少し短く、10～20分という結果でした。

部会長

ありがとうございます。ニーズ調査の依頼文に、「おおよそ20～30分くらいかかる」という表現があった方が良いと思います。

事務局

依頼文に記載させていただきます。

部会長

ご意見、ご質問等いただき、ありがとうございました。今のことを踏まえまして、調査票の内容につきましては修正等していただこうと思います。また、私と事務局で最終確認をさせていただいた上で、全体会会長にも報告させていただきます。その後、調査を実施する運びとなりますので、その点につきまして、ご了承いただければと思います。もし、追加でご意見等がありましたら、事務局にご連絡いただければ、調整させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

3 中高生向けの意識調査票（案）について

- 資料3に基づき、事務局から説明

部会長

説明いただきましたように、資料に既に記載されている項目について検討するのではなく、この資料を基に高校生向けの調査をするに当たり、さらに、どのような項目を設けたら良いのかというご意見をいただければと思います。

委員

高校生向けのアンケートであれば、「アルバイトをしているか」や「アルバイト先でどのような人間関係なのか」など、アルバイト関係の項目があった方が良いでしょう。

中学生も対象になると思いますが、SNS関係のトラブルの項目は入れた方が良いでしょう。

また、資料のアンケート表紙にクラスと名前を書く欄がありますが、記名式のアンケートなのでしょうか。

事務局

無記名で実施します。お配りさせていただいている資料は、教育委員会が実際に実施するアンケート用紙で、教育委員会においては、クラスと名前を把握するとのことですが、今回はアンケート結果（データ）のみ使用させてもらう予定です。

部会長

他にご意見はございませんか。

副部会長

高校卒業後の進路について聞きたいです。その際の質問の仕方で「大学に進学するのが良いことである」という記載の仕方は避けてほしいと思います。「家庭の経済的な事情などで進学希望があるけどもできない」といったこともわかればと思います。高校卒業後に働きたいと思う理由を選択する際に、「大学に進学できないから」という理由ではなく、「選ぼうとしている職業が好きだから」や、「大学に進学することが全てではない」というような内容も選択肢として含めてほしいと思います。

事務局

ありがとうございます。卒業後の進路について、検討させていただきます。どのような表現が良いか、アンケート案が完成しましたら、お示しし、相談させていただきたいと思います。

部会長

就職希望の方が、どのくらいの期間働きたいと思っているのでしょうか。例えば、最近では、若者の離職率が高いと聞きますが、働き始める前に「一生の仕事として働く」と思う高校生がどれくらいいるのか、「とりあえず、3年くらい働いてみて、合わないかどうかを決めればよい」と考えているのか、そのような設問は設けることができるのでしょうか。

事務局

高校生の「仕事に対する意識」や「転職に対する考え」という部分を指していると思います。次世代計画では、若者の就労支援に関する内容もありますので、そのような設問も検討したいと思います。

委員

「家にいる時間がどのくらいか」や「外泊が多いか」などの家庭生活の時間を聞けたら良いと思います。

また、SNSの使用時間について、例えば、勉強時間にSNSをしている人が多くなっていると思います。SNSが勉強の邪魔や、夜更かしの原因になっていると思います。「授業中にスマホでSNSを見るか」や、「家庭学習のときにSNSを見るか」なども聞いていただければと思います。

委員

学校の授業時間で調査を実施するとのことですが、不登校などであまり学校に来れていない人の意見は集約されないのですか。

事務局

学校の授業中に実施する予定ですので、学校に来られていない人のアンケートは取れないことになります。

委員

学校には行けていないが、フリースクールや市が実施する補習授業といった場所もあるので、そういった場所に通っている人であれば、回答してもらえないのではないのでしょうか。不登校の状況はかなり影響があると思います。

事務局

教育委員会の「ステップアップ調査」で、学力と生活実態調査を連動させて調査を実施していくと聞いています。その中で、教育委員会の調査で、そのような子どもたちも含めて実施していただき、集計したデータを分析に活用したいと考えております。そのため、いただいたご意見につきましては教育委員会に伝えさせていただきます。

部会長

ありがとうございます。改めて確認しますが、資料1-1で平成31年10月を目途に「事業計画と次世代計画の中間答申」との記載がありますが、中高生向けアンケートは次世代計画に盛り込む情報として、教育委員会が実施した調査の集計データを活用するという事でよろしいでしょうか。

事務局

そのとおりです。

部会長

教育委員会で実施される調査の結果を、どのように次世代計画に活用するかについて検討いただきましたが、中学生用のアンケート項目はこの部会で検討する必要はなく、高校生のアンケートはこれから作成していくに当たって、今のご意見を参考にしていくということです。

他にご意見はございませんか。

委員

学習だけではなく次世代計画にも関連するということであれば、SNSやメディア依存、不登校も関連があり、他には、喫煙や社会的なボランティア活動など、一般の生活に関しても盛り込んでも良いということですね。やはり、条例ができて受動喫煙は徹底されていないというデータもありますので、高校のときからの喫煙に対する意識も聞いてみたいと思います。また、メディア関係の設問は設けていただきたいと思います。

部会長

他にございますでしょうか。ありがとうございました。

それでは、高校生向けのアンケート項目については、私と事務局で調整させていただき、今のご意見を踏まえ、反映させていければと思います。様々なご意見、ご質問をいただきましてありがとうございました。

ニーズ調査と同様に、いただいたご意見を踏まえ、全体会会長に報告させていただき、中高生向けの意識調査につきましても進めていきたいと思っています。追加でご意見等がありましたら、事務局までご連絡をいただきましたら、意見を反映させていただこうと思います。よろしく願いいたします。

4 その他

- 次回（第3回）計画策定部会の日程等の事務連絡

部会長

ありがとうございました。次回は1月下旬頃ということですので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、尼崎市子ども・子育て審議会第2回計画策定部会を終了させていただきます。

閉会

以上

会議録署名者

委員

委員